

場所:四條畷市 えにし庵
日時:2017年5月21日(日)

四條畷市で自然を活かしたイベント「泥かけ祭り」を実施しました

横見ゼミでは、四條畷市の自然を活かした地域活性化を目的として、5月21日(日)に「泥かけ祭り」を実施しました。これは、四條畷市の体験型農園である「グリーンガーデン」が主催したもので、耕作前の水田を舞台に、様々な競技を実施することを通じて、四條畷における自然の魅力を存分に体験することを目的としたものです。

今回は、グリーンガーデンの主催としては第一回目となるため、一般の入場者を募らずに学生のみでの実験的なイベントとして実施しました。私たち学生が、企画と運営を担当し、ゼミ学生を対象に、二人三脚、綱引き、ビーチフラッグ、借り人競争を実施しました。これらの競技は、参加者同士の交流を効果的に深めることを目的として企画をしたもので、参加者は泥まみれになりながら競技を楽しむことができました。

イベントの終了後、隣接する「えにし庵」に集まり、今回の企画に関するワークショップを実施しました。具体的には、「自然を活かした観光活性化」、「若年層の集客」、「企画の新鮮さと斬新さ」、「地域への経済効果」の4つの視点から班ごとに分かれてグループワークをおこない、今後の持続的な実施に向けた提言を発表しました。

各班の発表では、「田んぼで競技をするだけで「自然体験」と言えるのか?」という疑問に対して、「田んぼを拝借した礼を兼ねて、競技のあとに田植え体験を付け加えると、自然体験の要素を取り込むことができる」などという意見も提示されました。

ワークショップで議論・提言したことを整理して、今後の展開を検討したいと思います。

泥かけ祭りでの競技の様子↓



ワークショップの様子↓



[文責: 経営学科 3回 梁川正也]